

新しい年にかける思い



朝日町長

栗田 康昭

あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、夢あふれる輝かしい平成29年の新春をさわやかにお迎えのことと御慶び申し上げます。

また、日頃から町政全般にわたり温かいご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

現代社会では、本格的な人口減少社会の到来や少子高齢化、グローバル化の進展など、地方自治体を取り巻く課題は年々複雑化している中、朝日町は2010年の国勢調査で人口増加率が全国1位となり、2015年の国勢調査結果でも上位（12位）を保っています。

朝日町が将来に向かって発展し続けるために、若者が夢と希望がもてるまちづくり、高齢者が生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりをモットーに町政を推進しているところです。本年も第5次朝日町総合計画の朝日町の将来像、まちづくりの基本視点の「暮らしやすさ」、「朝日らしさ」、「連携と協働」をまちづくりのすべての分野の基本として、未来の子どもたちになげ笑顔あふれる「朝日町」を創ってまいります。

さて、昨年を振り返りますと、5月に伊勢志摩サミットが開催されました。朝日町としても開催を支援し、三重県を訪れる方々をおもてなしの心でお出迎えするため「おもてなし大作戦」による「花いっぱい運動」「クリーンアップ大作戦」を町民の皆様の、温かいご協力により開催することができました。あらためて、心より感謝申し上げます。

また、近年様々な大規模災害が発生しております。4月14日に熊本を中心に震度7の地震が僅か28時間の間に2回も発生するという観測史上初となる大規模災害が発生しました。8月には台風10号が日本を縦断し、9月の台風16号では豪雨により、町内でも町道の法面崩壊がありました。これらの台風は、岩手県と北海道では大きな被害を受けられ、特に岩泉町のグループホームでの被害により、避難が難しい人々をどうやって早めに避難させるかということが大きく問題になりました。

しかし、私たちに夢や希望を与える出来事もありました。リオデジャネイロ五輪大会では、日本が獲得したメダル数は41個、前回のロンドン大会の38個を上回って過去最高となりました。世界の強豪の中で、どの選手も活躍し、感動を与えてくれました。スポーツの持つ凄さを改めて感じるオリンピックでもありました。

今 朝日町は人口1万人を超え、元気ある活力ある町として歩み始めており、急激な人口増、伊勢湾岸自動車道の開通など、町の地域構造が大きく変化しています。地域のことは地域で自ら考え決定し、その財源・権限と責任を自らが持つことが求められる中、こうした動向に的確に対応し、町民と行政が協働して新しいまちを築いていかなければなりません。

町政の基本・原点はふるさとを愛し、愛着を感じていただけるまちづくりであると考えていますので、笑顔あふれる「朝日町」のために町民の皆様の変わらぬご理解とご協力、ご尽力をお願い申し上げます。

新しい年が、町民の皆様にとりまして素晴らしい年となりますことを心からご祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

平成29年1月吉日